

平成 2 5 年 度

当 初 予 算 概 要

新 潟 県 三 条 市



市の花
ひめさゆり



市の木
五 葉 松



市の鳥
芝 地 鶏

目 次

1	編成方針	1
2	予算規模	1
3	予算の状況（一般会計）	4
（ 1 ）	歳入の概要	4
（ 2 ）	歳出の概要	6
4	基金の状況	1 0
5	市債の状況	1 0
6	重点政策の概要	1 1
7	主な事業	1 9

1 編成方針

7.29 豪雨災害等による財政負担の影響が続く中、依然として厳しい状況にある地域経済において、市税収入の大幅な回復は見込まれないことに加え、地方財政対策における地方公務員給与費の削減により普通交付税が減少する一方、公債費や扶助費等の義務的経費や退職手当などの財政負担の増加が見込まれ、当市の財政状況は極めて厳しい状況にあります。

このような状況にあっても、災害復旧・災害関連事業に着実に取り組むとともに、地域経済の活性化に向けた支援策等の重点政策に積極的に取り組み、総合計画に掲げる将来都市像を実現していくため、新経営戦略プログラムに基づく行財政改革による財源確保に加え、国の緊急経済対策による交付金等の財政措置を活用し、後年度の財政への影響にも十分配慮した上で、予算編成を行いました。

2 予算規模

一般会計の予算規模

44,875,000 千円 （前年度比 3,260,000 千円の減、伸び率 6.8%）

三条市全体の予算規模（一般会計と特別会計の合計）

68,423,700 千円 （前年度比 2,876,700 千円の減、伸び率 4.0%）

（単位：千円、%）

区 分	平成 2 5 年度 (A)	平成 2 4 年度 (B)	比 較	
			増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
一 般 会 計	44,875,000	48,135,000	3,260,000	6.8
国民健康保険事業特別会計	10,375,400	10,245,300	130,100	1.3
後期高齢者医療特別会計	869,500	847,800	21,700	2.6
介護保険事業特別会計	8,707,700	8,550,400	157,300	1.8
農業集落排水事業特別会計	663,300	640,800	22,500	3.5
勤労者福祉共済事業特別会計	16,000	13,000	3,000	23.1
公共下水道事業特別会計	2,916,800	2,868,100	48,700	1.7
合 計	68,423,700	71,300,400	2,876,700	4.0

(1) 一般会計

国の緊急経済対策等を活用した「13か月予算」の規模

51,185,000 千円 (前年度比 + 3,050,000 千円、 + 6.3%)

- ・ 投資的経費の規模 11,698,510 千円 (前年度比 + 4,419,181 千円、 + 60.7%)
- ・ 地方債の発行 9,185,700 千円 (前年度比 + 2,199,700 千円、 + 31.5%)

- 当初予算の規模 44,875,000 千円 (前年度比 3,260,000 千円、 6.8%)
 - ・ 投資的経費の予算規模 5,434,595 千円 (前年度比 1,844,734 千円、 25.3%)
 - ・ 財政調整基金(財源調整)の取崩 600,000 千円 (前年度比 + 257,000 千円、 + 74.9%)
 - ・ 地方債の発行 5,223,400 千円 (前年度比 1,762,600 千円、 25.2%)

当初予算と国の緊急経済対策等を活用した平成 24 年度 3 月補正予算を一体のものとして編成した、いわゆる「13か月予算」の規模は前年度比 3,050,000 千円、6.3% の増 (当初予算の規模は前年度比 3,260,000 千円、 6.8%) といたしました。

引き続き定員の適正化や総枠配分方式による予算編成などによる経費の抑制を図りながら、国の緊急経済対策により措置された交付金等を最大限に活用することにより、災害復旧・災害関連事業に全力で取り組んでいくことはもとより、依然として厳しい状況にある地域経済の再活性化や新市建設計画の推進、子育て環境の充実などを図るほか、普通交付税の合併算定替の終了による減額を見据えた中で、老朽化した公共施設の改修等にも財源を重点的に配分しました。

(以下、説明は当初予算対比で記載)

歳 出

【減要因】

経常経費

- ・ 職員人件費 (一般職) 283,759 千円 (特別会計を含み、退職手当を除く)

(職員数の削減 ㊦ 1,175 人 ← ㊦ 1,223 人 (48 人)
(企業職員等含む ㊦ 1,209 人 ← ㊦ 1,265 人 (56 人)))

投資的経費

- ・ ごみ処理施設建設事業 876,362 千円 (㊦ 70,000 千円 ← ㊦ 946,362 千円)
- ・ 第二中学校区小中一体校建設事業 869,566 千円 (㊦ 0 千円 ← ㊦ 869,566 千円)
- ・ 川通どれみ保育園建設費補助金 198,225 千円 (㊦ 90,000 千円 ← ㊦ 288,225 千円)

その他

- ・金融対策事業費 2,009,060 千円 (25 6,116,728 千円 ← 24 8,125,788 千円)
- ・国民健康保険事業特別会計繰出金 82,261 千円 (25 508,520 千円 ← 24 590,781 千円)
- ・総枠配分方式による経費削減 236,088 千円 (5%、10%削減)

【増要因】

投資的経費

- ・第一中学校区小中一体校建設事業 + 413,839 千円 (25 1,251,505 千円 ← 24 837,666 千円)
- ・災害復旧関連道路改良事業 + 246,492 千円 (25 246,492 千円 ← 24 0 千円)
- ・小学校施設整備費 + 199,129 千円 (25 221,110 千円 ← 24 21,981 千円)

その他

- ・長期債元金 + 343,623 千円 (25 5,441,019 千円 ← 24 5,097,396 千円)
- ・私立保育園運営委託料 + 215,715 千円 (25 1,980,151 千円 ← 24 1,764,436 千円)
- ・退職手当 + 120,156 千円 (25 1,032,591 千円 ← 24 912,435 千円)
- ・清掃センター費 + 97,416 千円 (25 420,168 千円 ← 24 322,752 千円)

歳入

- 地域の元気臨時交付金 + 1,089,233 千円 (25 1,089,233 千円 ← 24 0 千円)
- 退職手当費 + 161,800 千円 (25 573,000 千円 ← 24 411,200 千円)

(2) 特別会計

国民健康保険事業特別会計

保険給付費、後期高齢者支援金などの増

後期高齢者医療特別会計

加入者の増による後期高齢者医療広域連合納付金の増

介護保険事業特別会計

居宅介護サービス受給者の増による給付費の増

農業集落排水事業特別会計

総務費、公債費の増

勤労者福祉共済事業特別会計

余暇事業費、給付事業費の増

公共下水道事業特別会計

特定環境保全公共下水道建設費の増

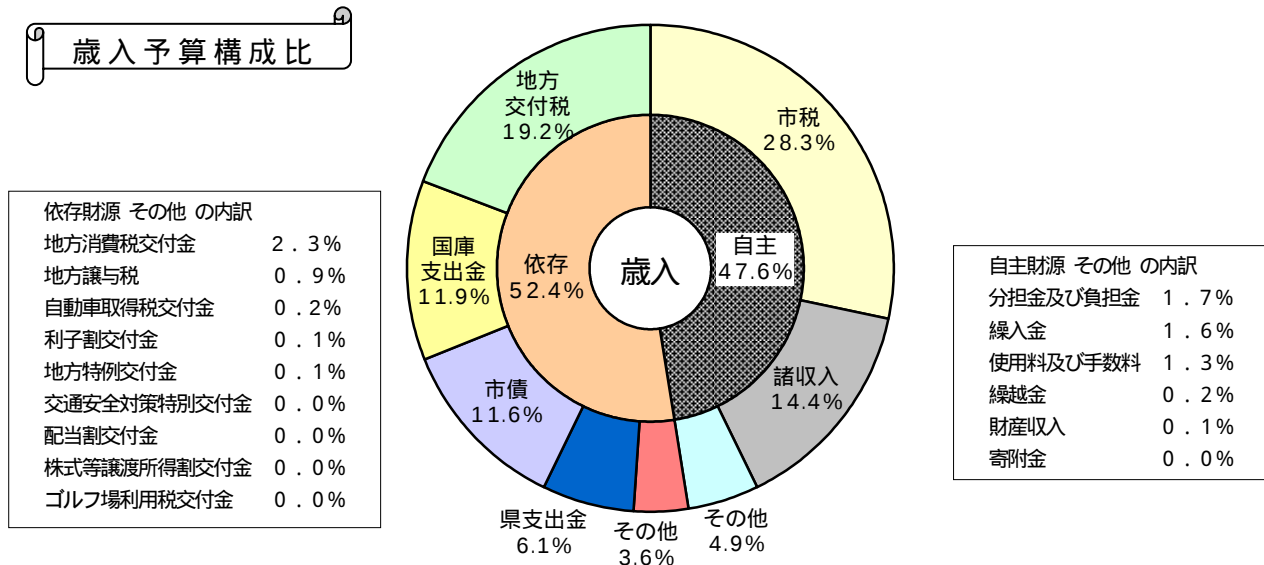
3 予算の状況（一般会計）

（１）歳入の概要

（単位：千円、％）

区 分	平成 2 5 年度		平成 2 4 年度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
1 市 税	12,686,881	28.3	12,570,724	26.1	116,157	0.9
2 地 方 譲 与 税	385,000	0.9	400,000	0.8	15,000	3.8
3 利 子 割 交 付 金	30,000	0.1	30,000	0.1		
4 配 当 割 交 付 金	18,000		15,000		3,000	20.0
5 株式等譲渡所得割交付金	2,500		4,000		1,500	37.5
6 地 方 消 費 税 交 付 金	1,050,000	2.3	1,050,000	2.2		
7 ゴルフ場利用税交付金	12,000		15,000		3,000	20.0
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	90,000	0.2	90,000	0.2		
9 地 方 特 例 交 付 金	45,000	0.1	40,000	0.1	5,000	12.5
10 地 方 交 付 税	8,600,000	19.2	8,600,000	17.9		
11 交通安全対策特別交付金	20,000		21,000		1,000	4.8
12 分 担 金 及 び 負 担 金	745,618	1.7	746,292	1.6	674	0.1
13 使 用 料 及 び 手 数 料	561,805	1.3	561,773	1.2	32	
14 国 庫 支 出 金	5,340,012	11.9	4,929,496	10.2	410,516	8.3
15 県 支 出 金	2,758,174	6.1	3,055,640	6.3	297,466	9.7
16 財 産 収 入	44,909	0.1	44,935	0.1	26	0.1
17 寄 附 金	5		5			
18 繰 入 金	721,149	1.6	473,033	1.0	248,116	52.5
19 繰 越 金	100,000	0.2	100,000	0.2		
20 諸 収 入	6,440,547	14.4	8,402,102	17.5	1,961,555	23.3
21 市 債	5,223,400	11.6	6,986,000	14.5	1,762,600	25.2
計	44,875,000	100.0	48,135,000	100.0	3,260,000	6.8

歳入予算構成比



【一般会計歳入の主な増減内容】

市 税 評価下落に伴う固定資産税、都市計画税の減はあるものの、法人市民税や市たばこ税の増により、116,157千円、0.9%の増

国庫支出金 小中一体校建設に対する小中学校施設整備費負担金や地域の元気臨時交付金などの増により、410,516千円、8.3%の増

県支出金 農地農業用施設災害復旧事業費補助金の減や、HPVワクチン等接種事業補助金などの減により、297,466千円、9.7%の減

繰入金 水道事業会計繰入金の減はあるものの、財政調整基金繰入金の増により、248,116千円、52.5%の増

諸収入 中小企業経営安定化緊急対策資金等の制度融資繰戻金の減などにより、1,961,555千円、23.3%の減

市 債 ごみ処理施設建設事業や第二中学校区小中一体校建設事業の完了により、1,762,600千円、25.2%の減

【歳入予算一般財源の状況】

(単位：千円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
市 税	12,686,881	49.1	12,570,724	49.5	116,157	0.9
地 方 譲 与 税	385,000	1.5	400,000	1.6	15,000	3.8
利 子 割 交 付 金	30,000	0.1	30,000	0.1		
配 当 割 交 付 金	18,000	0.1	15,000	0.1	3,000	20.0
株式等譲渡所得割交付金	2,500		4,000		1,500	37.5
地 方 消 費 税 交 付 金	1,050,000	4.1	1,050,000	4.1		
ゴルフ場利用税交付金	12,000	0.1	15,000	0.1	3,000	20.0
自動車取得税交付金	90,000	0.3	90,000	0.3		
地 方 特 例 交 付 金	45,000	0.2	40,000	0.1	5,000	12.5
地 方 交 付 税	8,600,000	33.3	8,600,000	33.8		
繰 入 金	603,877	2.3	345,630	1.4	258,247	74.7
諸 収 入 ・ そ の 他	2,300,087	8.9	2,253,278	8.9	46,809	2.1
計	25,823,345	100.0	25,413,632	100.0	409,713	1.6

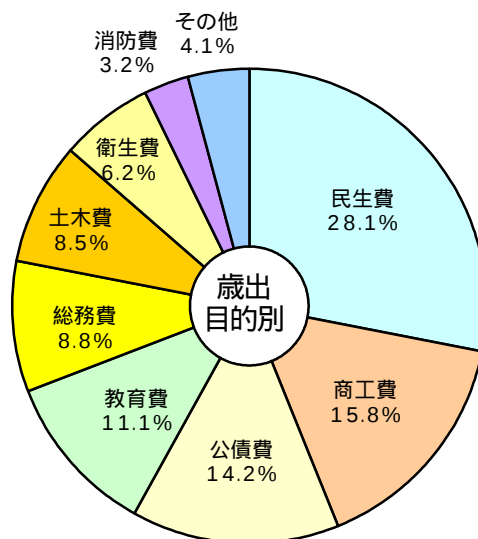
(2) 歳出の概要

目的別分類

(単位 : 千円、 %)

区 分	平 成 2 5 年 度		平 成 2 4 年 度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
1 議 会 費	296,281	0.7	306,806	0.6	10,525	3.4
2 総 務 費	3,958,085	8.8	3,617,392	7.5	340,693	9.4
3 民 生 費	12,598,084	28.1	12,653,524	26.3	55,440	0.4
4 衛 生 費	2,784,864	6.2	3,532,073	7.3	747,209	21.2
5 労 働 費	203,761	0.4	204,459	0.4	698	0.3
6 農 林 水 産 業 費	1,014,143	2.3	828,462	1.7	185,681	22.4
7 商 工 費	7,077,678	15.8	9,227,283	19.2	2,149,605	23.3
8 土 木 費	3,826,162	8.5	4,444,005	9.2	617,843	13.9
9 消 防 費	1,439,489	3.2	1,384,084	2.9	55,405	4.0
10 教 育 費	4,962,897	11.1	4,894,127	10.2	68,770	1.4
11 災 害 復 旧 費	328,690	0.7	949,045	2.0	620,355	65.4
12 公 債 費	6,374,509	14.2	6,083,383	12.7	291,126	4.8
13 諸 支 出 金	357		357			
14 予 備 費	10,000		10,000			
計	44,875,000	100.0	48,135,000	100.0	3,260,000	6.8

歳出予算構成比 (目的別)



その他の内訳

農林水産業費	2.3%
災害復旧費	0.7%
議会費	0.7%
労働費	0.4%
諸支出金	0.0%
予備費	0.0%

【一般会計歳出の主な増減内容（目的別）】

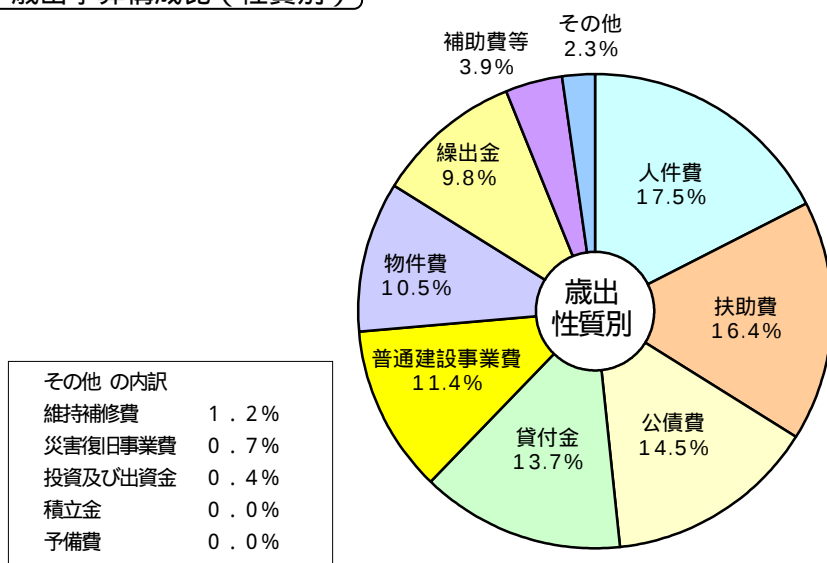
総 務 費	退職手当や庁舎整備費、電算システムのデータ移行委託料の増などにより、340,693千円、9.4%の増
民 生 費	私立保育園運営委託料の増などがあるものの、川通どれみ保育園建設費補助金や国民健康保険事業特別会計繰出金の減などにより、55,440千円、0.4%の減
衛 生 費	ごみ処理施設運転委託料や子ども医療費助成費などの増があるものの、ごみ処理施設建設事業費の減などにより、747,209千円、21.2%の減
農 林 水 産 業 費	災害復旧関連農業用施設等改進黨業費や濁沢名下線開設事業等の林道整備事業費の増などにより、185,681千円、22.4%の増
商 工 費	中小企業振興資金預託金、中小企業経営安定化緊急対策資金預託金等の制度融資預託金の減などにより、2,149,605千円、23.3%の減
土 木 費	災害復旧関連道路改良及び水路改進黨業費の増などがあるものの、新保裏館線道路改進黨業や消雪施設整備費等について国の緊急経済対策に伴い平成24年度補正予算措置したことによる減などにより、617,843千円、13.9%の減
教 育 費	第二中学校区小中一体校建設事業の完了による減などがあるものの、第一中学校区小中一体校建設事業費や小・中学校施設整備費、教育センター整備事業費の増などにより、68,770千円、1.4%の増
災 害 復 旧 費	農地災害復旧費や道路橋梁災害復旧費の減などにより、620,355千円、65.4%の減
公 債 費	合併特例事業債や臨時財政対策債の元金償還金の増により291,126千円、4.8%の増

性質別分類

(単位：千円、%)

区 分	平成 2 5 年 度		平成 2 4 年 度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
消 費 的 経 費	22,189,506	49.5	21,861,114	45.5	328,392	1.5
人 件 費	7,838,432	17.5	8,021,080	16.7	182,648	2.3
うち 職 員 給	4,725,539	10.5	4,887,562	10.2	162,023	3.3
うち 退 職 手 当	1,043,451	2.3	912,435	1.9	131,016	14.4
物 件 費	4,726,735	10.5	4,493,992	9.3	232,743	5.2
維 持 補 修 費	531,181	1.2	472,615	1.0	58,566	12.4
扶 助 費	7,364,881	16.4	7,157,793	14.9	207,088	2.9
補 助 費 等	1,728,277	3.9	1,715,634	3.6	12,643	0.7
うち一部事務組合負担金	221,670	0.5	240,243	0.5	18,573	7.7
投 資 的 経 費	5,434,595	12.1	7,279,329	15.1	1,844,734	25.3
普 通 建 設 事 業 費	5,105,905	11.4	6,330,284	13.1	1,224,379	19.3
災 害 復 旧 事 業 費	328,690	0.7	949,045	2.0	620,355	65.4
公 債 費	6,519,234	14.5	6,232,696	12.9	286,538	4.6
積 立 金	1,407		1,322		85	6.4
投 資 及 び 出 資 金	161,544	0.4	173,653	0.4	12,109	7.0
貸 付 金	6,142,860	13.7	8,125,570	16.9	1,982,710	24.4
繰 出 金	4,415,854	9.8	4,451,316	9.2	35,462	0.8
予 備 費	10,000		10,000			
計	44,875,000	100.0	48,135,000	100.0	3,260,000	6.8

歳出予算構成比（性質別）



【一般会計歳出の主な増減内容（性質別）】

人 件 費	退職手当の増はあるものの、職員数の減による職員給の減により、182,648千円、2.3%の減
物 件 費	ごみ処理施設運転委託料の増や、電算システムの共同化に係るデータ移行経費の増などにより、232,743千円、5.2%の増
維持補修費	道路補修に要する経費の増や公共施設の修繕経費の増などにより、58,566千円、12.4%の増
扶 助 費	保育所の民営化に伴う私立保育園運営委託料の増や、子ども医療費助成費の増などにより、207,088千円、2.9%の増
補助費等	成長産業分野進出支援事業補助金などの減はあるものの、中心市街地拠点施設運営補助金や若年者雇用拡大奨励金の増などにより、12,643千円、0.7%の増
投資的経費	第一中学校区小中一体校建設事業費の増はあるものの、ごみ処理施設建設事業や第二中学校区小中一体校建設事業の完了などにより、1,844,734千円、25.3%の減
公 債 費	合併特例事業債や臨時財政対策債の元金償還の増により、286,538千円、4.6%の増
貸 付 金	中小企業経営安定化緊急対策資金預託金、中小企業災害特別資金預託金等の制度融資預託金の減などにより、1,982,710千円、24.4%の減
繰 出 金	介護保険事業特別会計繰出金や県後期高齢者医療広域連合負担金の増はあるものの、国民健康保険事業特別会計繰出金や公共下水道事業特別会計の減などにより、35,462千円、0.8%の減

4 基金の状況

平成25年度末の基金残高見込額は、6,974,551千円

平成25年度中に財政調整基金、奨学基金、介護給付費準備基金の取崩を行うことなどにより、平成24年度末残高見込額から648,382千円の減

(単位：千円)

区 分	平成24年度 末残高見込額	平成25年度増減見込額		平成25年度 末残高見込額
		積立見込額	取崩見込額	
財 政 調 整 基 金	3,207,289	1	603,877	2,603,413
市 債 管 理 基 金	524,163	67,000	67,000	524,163
職 員 退 職 手 当 基 金	1,518,486	630		1,519,116
国 際 交 流 基 金	107,135			107,135
人 材 育 成 基 金	198,927		4,102	194,825
社 会 福 祉 基 金	344,934	84	4,550	340,468
アークランドサカモト株式会社障がい者福祉基金	98,127	99	2,000	96,226
温 泉 保 養 交 流 施 設 等 整 備 基 金	30,129	31	3,037	27,123
花 と 緑 の ま ち づ く り 基 金	116,000		1,769	114,231
下 水 道 施 設 等 整 備 基 金	103,101	104		103,205
奨 学 基 金	217,477	1	17,541	199,937
理 科 教 育 振 興 基 金	100,000	100		100,100
文 化 振 興 基 金	64,532		3,365	61,167
諸橋文庫・諸橋博士漢学の里基金	184,397			184,397
公 共 施 設 整 備 基 金	356,396	357		356,753
国民健康保険事業財政調整基金	384	1	1	384
介 護 給 付 費 準 備 基 金	451,456	452	10,000	441,908
合 計	7,622,933	68,860	717,242	6,974,551

5 市債の状況

平成25年度末の市債残高見込額は97,247,768千円

平成24年度末残高見込額から723,983千円の減

(単位：千円)

区 分	平成24年度 末残高見込額	平成25年度増減見込額		平成25年度 末残高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
一 般 会 計	71,692,872	5,223,400	5,441,019	71,475,253
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	6,978,874	202,200	363,936	6,817,138
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	19,300,005	955,400	1,300,028	18,955,377
合 計	97,971,751	6,381,000	7,104,983	97,247,768

6 重点政策の概要

個性豊かで活気に満ちあふれ、安心して暮らせるまちとして発展し続けるため、当市の「軸」である「ものづくり」の基盤強化と行政の「軸」である「5つの徹底」の更なる推進を両輪として、政策の基礎となる「人」への投資に目を向け、これまで推進してきた各種施策の効果を確実なものにしていきながら、更に、積極果敢に市政を展開していきます。

さらに、国の平成24年度補正予算を最大限に活用した中で、平成24年度3月補正予算と一体の予算と捉え、一般財源を圧縮しつつ、7.29豪雨災害からの復旧・復興に全力で取り組むとともに、老朽化した公共施設を整備していきます。

6 - 1 5つの徹底

- 1 地域経済の再活性化 ～「産業都市三条」にこだわり抜く！～
- 2 子育て環境の充実 ～次代を担う子どもたち・若者たちを育て抜く！～
- 3 スマートウエルネス三条の推進 ～赤ちゃんからお年寄りまでが健康的に暮らし抜く！～
- 4 シティセールスの推進 ～三条の素晴らしさをアピールし抜く！～
- 5 市民参加の徹底 ～市民パワーを活用し抜く！～

(1) 地域経済の再活性化 ～「産業都市三条」にこだわり抜く！～

〔6,432,378千円 重複掲載を除く。 (主要事業説明資料 P1)〕

世界同時不況からの回復基調を維持し、1日も早く地域経済を安定した軌道に乗せるため、国の補正予算を活用しながら、資金繰り支援策としてのマイナス金利融資制度を新たに創設し、既存の制度融資等を含めた金融施策と「売れるものづくり支援事業」「成長産業分野進出支援事業」「次世代産業創造プロジェクト事業」の3つの柱を両輪として、引き続き、支援のアクセルを踏み続けていきます。

加えて、当地域の将来に目を向けたときに最も大切なことは、「人」への投資であり、来年度は、産学官連携によるそれぞれのノウハウを活かした一体的な技術系人材の教育環境を整備するとともに、ODA（政府開発援助）などを通じた相互利益の関係の構築、さらに、若年層の新規創業を促すため、起業ノウハウやオフィスの提供、関係企業とのネットワークづくり等の支援を行うインキュベーション機能を持ったものづくり拠点の設置について検討していきます。

農業については、農業者の「所得の向上」と「担い手の充実」を柱に掲げ、販路開拓や品質向上など営農ノウハウの習得及び実践の場としての「農業担い手育成塾」、農業者の主体的な活動を支援する「農業者グループ研究支援事業」を創設するなど、産業として成り立つ農業の確立を目指します。

ア 農産物販路開拓推進事業	1,928千円 (P33)
イ 地産地消推進事業	25,002千円 (P33)
ウ 農業担い手確保育成事業	26,747千円 (P33)
エ 米政策改革推進対策事業	74,094千円 (P34)

オ	金融対策事業	6,116,728千円(P35)
	(24補正含み)	6,162,813千円)
カ	商工業活性化事業	100,366千円(P35)
キ	伝統的地場産業振興事業	25,721千円(P35)
ク	地域ブランド推進事業(重複掲載)	10,785千円(P36)
ケ	中心市街地活性化事業(重複掲載)	47,496千円(P38)
コ	観光事業(重複掲載)	30,069千円(P39)
サ	雇用対策事業	15,707千円(P40)

(2) 子育て環境の充実 ～次代を担う子どもたち・若者たちを育て抜く！～

[8,954,367千円 重複掲載を除く。(主要事業説明資料 P13)]

来年度、小中一貫教育が全市一斉にスタートを切ります。この小中一貫教育の効果を最大限に発揮していくため、様々な教育活動を支援する「教育センター」を設置し、小中一貫教育推進研修を中心とした教職員の支援、様々な適応困難な子どもへの対応や保護者との教育相談を実施するとともに、小中一貫教育のカリキュラムを統括し、小中一貫教育の成果や課題の検証を行いながら、1人1人の子どもの状況に即した指導を実施していきます。

また、子どもたちの発達段階に応じたきめ細かな支援をしていくため、「子どもの育ちサポートセンター」を設置し、教育センター、特別支援教室や特別支援学校と連携しながら、子ども・若者総合サポートシステムの中で就学前段階からの継続的な支援体制を構築していきます。

これらの取組に加え、このまちの「軸」である「ものづくり」をカリキュラムの一環として位置付け、ものづくり体験を通して感受性や創造性を育むとともに、災害発生時において、子どもたちが自ら適切に災害に対応できる「生き抜く力と姿勢」を育む防災教育を推進していきます。

ア	教育センター整備事業	72,244千円(P27)
イ	小中一貫教育推進事業	53,911千円(P27)
ウ	学力向上推進事業	10,395千円(P27)
エ	特別支援教育事業	14,765千円(P28)
オ	いじめ・不登校対策事業	11,758千円(P28)
カ	適応指導事業	7,445千円(P28)
キ	幼児教育推進事業	2,291千円(P28)
ク	小学校施設整備事業	221,110千円(P29)
	(24補正含み)	387,670千円)
ケ	裏館小学校改築事業	405,204千円(P29)
	(24補正含み)	894,942千円)
コ	中学校施設整備事業	111,200千円(P29)
	(24補正含み)	267,650千円)
サ	第一中学校区小中一体校建設事業	1,251,505千円(P29)

(²⁴補正含み4,593,421千円)

シ 食育推進事業(重複掲載)	6,174千円(P43)
ス 総合サポートシステム事業	1,253千円(P44)
セ 三条っ子発達応援事業	23,891千円(P44)
ソ 保育サービスの充実	2,578,018千円(P45)
(うち、川通どれみ保育園建設費補助金90,000千円は重複掲載)	
タ 放課後児童健全育成事業	124,713千円(P46)

(3) スマートウエルネス三条の推進 ~赤ちゃんからお年寄りまでが健康的に暮らし抜く!~ [194,957千円 重複掲載を除く。(主要事業説明資料 P19)]

生涯にわたり健康で幸せに暮らし続けるためには、歩いて行動できる範囲に生活基盤が充実していることと併せ、楽しみながら誰もが自然と歩き、知らず知らずのうちに健康になれるような環境づくりが大切です。

こうした基本認識の下、来年度は、「非日常」から「日常」へとにぎわいを更に広げていくため、三条小学校区をモデル地区として、まちの装いそのものをハードとソフトの両面から変えていきます。

ハード面では、車の通行に一定の制限をかけた、誰もが歩きやすい道路空間の確保に向け、「ゾーン30」を導入するとともに、歩行者が休憩できるたまり空間や道路にイベントステージを整備するなど、道路そのものの在り方を見直していきます。

ソフト面では、装いを変えた道路やまちの交流拠点施設「みんくる」を舞台に繰り広げられる「100のプログラム」の創出を支援し、三条マルシェや商店街で行われる様々なイベントなどと併せ、ハード面の整備と連携させながら、日常的な人の誘導を促進する仕組みを構築していきます。

ア 交通安全対策事業	22,879千円(P22)
(うち、ゾーン30の導入10,206千円は重複掲載)	
イ 地域公共交通総合連携計画の推進	83,164千円(P23)
ウ 交流空間の整備(重複掲載)	5,394千円(P24)
エ 中心市街地活性化事業	47,496千円(P38)
オ スマートウエルネス三条推進事業	20,392千円(P41)
カ 健幸マイレージ事業	3,614千円(P41)
キ 健康運動教室事業	11,332千円(P41)
ク 食育推進事業	6,174千円(P43)
ケ 救急医療施設運営事業	10,112千円(P43)

(4) シティセールスの推進 ～三条の素晴らしさをアピールし抜く！～

〔 6 2 3 , 3 8 0 千円 (主要事業説明資料 P26) 〕

昨年、下田地域と福島県只見町とを結ぶ国道 2 8 9 号「八十里越」の暫定的な活用が始まりました。

これを契機として、来年度は、本年 4 月にオープンする下田地域交流拠点施設を観光面における下田地域との結節点と位置付け、ここを起点として八十里越を通り只見町に至る体感ツアーバスを定期的に運行し、八十里越を含む下田郷全体の豊かな自然や歴史、文化のロマンあふれる資源を最大限活かした、旅行者 1 人 1 人のニーズを満たす新しい観光モデルを定着させていきます。

さらに、平成 2 6 年 4 月には新潟デスティネーションキャンペーンが開催されることから、下田地域交流拠点施設と八十里越を軸に、吉ヶ平などの周辺スポットや下田地域で開催する様々なイベントと連携した一体的かつ面的な観光戦略を構築していきます。

ア 地域ブランド推進事業	1 0 , 7 8 5 千円 (P36)
イ 中心市街地活性化事業 (重複掲載)	4 7 , 4 9 6 千円 (P38)
ウ 観光事業	3 0 , 0 6 9 千円 (P39)
エ 観光施設等整備事業	5 8 , 2 7 0 千円 (P39)
	(24 補正含み 1 2 3 , 9 7 0 千円)
オ 交流拠点施設整備事業〔下田地域・保内地域・競馬場跡地〕	2 9 7 , 5 5 6 千円 (P39)
	(24 補正含み 4 5 8 , 5 5 6 千円)

(5) 市民参加の徹底 ～市民パワーを活用し抜く！～

〔 2 4 , 9 3 4 千円 重複掲載を除く。(主要事業説明資料 P29) 〕

地域の資源と人材を活かした活気に満ちた地域社会を確かなものとするためには、市民の皆様が主体となり力を発揮していただくことが不可欠であり、行政はそれを後押しするという形が望ましいことはいうまでもありません。

このことから、市民、事業者、各種団体それぞれの持つ力を更に発揮していただくための環境づくりに努めます。

また、来年度予定している当市の名誉市民である諸橋轍次博士、岩田正巳画伯の生誕記念事業においても、市民の皆様の潜在的な活力を最大限に引き出し、それが新たな取組を生み出すきっかけとなるよう、それぞれ市民の皆様と共に実行委員会を組織した上で、効果的に実施していきます。

ア 諸橋轍次記念館活性化事業	1 , 7 0 0 千円 (P31)
イ 岩田正巳画伯生誕 120 年記念事業	1 , 6 5 0 千円 (P31)
ウ 中心市街地活性化事業 (重複掲載)	4 7 , 4 9 6 千円 (P38)
エ 健幸マイレージ事業 (重複掲載)	3 , 6 1 4 千円 (P41)
オ まちづくり活動支援事業	2 1 , 5 8 4 千円 (P54)

6 - 2 3つの基盤

- 1 行財政改革の推進
- 2 社会インフラの整備促進
- 3 力強い地域基盤の確立

(1) 行財政改革の推進 [75,008千円 (主要事業説明資料 P31)]

義務付け・枠付けの廃止など、地方分権が確実に進められる中、基礎自治体に課せられる責任と期待される役割が着実に拡大しつつある一方、更なる高齢化の進展による扶助費の増加や普通交付税の減額が見込まれるなど、大変厳しい財政状況にあります。

こうした状況の中、限られた資源を有効に投資し、安定的かつ継続的な行政サービスを提供していくため、事業の選択と集中による財政の柔軟性の確保に努めるとともに、職員 1 人 1 人の能力を今まで以上に高め、行政のプロとしての自覚と責任を持った職員の育成に力を入れるなど、新経営戦略プログラムに掲げるあるべき姿に向けた改革を着実に推進していきます。

ア 住民情報系システム共同化推進事業	64,632千円 (P26)
イ 経営改革の推進	136千円 (P56)
ウ 人材育成の推進	10,240千円 (P56)

(2) 社会インフラの整備促進 [2,885,226千円 重複掲載を除く。(主要事業説明資料 P34)]

7.29豪雨災害からの復旧・復興に全力で取り組むほか、河川流量を調整し被害を最小限に食い止めるための遊水地の整備を地元関係者の協力をいただきながら進めていきます。

布施谷川については、「布施谷川・新川排水路及び貝喰川内水氾濫対策検討会」において、既存施設の抜本的な改善を含め、被害軽減に向けた対策を検討します。

さらに、内水対策として、緊急内水対策事業を引き続き確実に推進するとともに、旧一ノ木戸小学校跡地への雨水地下貯留施設の設置と併せ、地上部分に避難所としても活用できる防災機能を備えた公園の整備を図るため、関係機関や地域住民と協議を進めていきます。

道路交通網の整備については、都市計画道路新保裏館線などの道路整備事業を着実に推進するとともに、新市建設計画登載事業等の着実な推進を図りながら、市域の均衡ある発展と安心で快適な都市環境整備に努めます。

ア 道路改良事業（下谷地柳場新田線、矢田中曽根新田線、森町院内線、興野新光線、支所土場線、今井野新田1号線、岡野新田1号線、森町中浦線ほか）	497,931千円 (P25)
(24)補正含み	624,931千円
イ 新保裏館線道路改築事業	115,002千円 (P25)
(24)補正含み	920,002千円
ウ 水害対策事業	86,000千円 (P51)

エ 緊急内水対策事業	139,137千円 (P51)
(24)補正含み	210,137千円)
オ 田んぼダム推進事業	1,774千円 (P51)
カ 消防施設等整備事業	45,600千円 (P52)
キ 消防団施設等整備事業	42,550千円 (P52)
ク 災害対策事業	44,414千円 (P52)
ケ 地域防災力強化事業	4,327千円 (P53)
コ 農林水産施設災害復旧事業	194,398千円 (P56)
サ 災害復旧関連農林水産施設改良事業	133,748千円 (P56)
シ 災害復旧公共土木施設改良事業	357,492千円 (P56)
ス 新市建設計画の推進	161,100千円
(24)補正含み	164,800千円)

新市建設計画掲載事業

(単位：千円)

事業名	予算額	事業名	予算額
新保裏館線道路改築事業	(115,002) 【920,002】	吉ヶ平周辺整備事業	(33,000)
下谷地柳場新田線道路整備事業	(0) 【95,000】	交流拠点施設整備事業〔下田地域〕	(2,000)
矢田中曽根新田線道路整備事業	(30,250)	交流拠点施設整備事業〔保内地域〕	(236,000) 【397,406】
森町院内線道路整備事業	(67,000)	交流拠点施設整備事業〔競馬場跡地〕 (かわまちづくり事業)	(59,150)
公共下水道事業〔三条地区〕(*)	412,057	第一中学校区小中一体校建設事業	(1,251,505) 【4,593,421】
特環下水道事業〔栄地区〕(*)	237,421	県事業費負担金	1,100 【4,800】
特環下水道事業〔下田地区〕(*)	198,136	計17事業	2,815,441 【7,288,163】
ごみ処理施設建設事業	70,000	予算額()書きを除く事業	1,008,714 【1,012,414】
川通どれみ保育園建設事業	90,000	特別会計(*)を除く事業	161,100 【164,800】
粟ヶ岳登山道アス道路整備事業	(11,620)		
白鳥の郷公苑整備事業	(1,200) 【66,900】		

(予算額が()書きの事業は、重複掲載の事業、【 】書きの金額はH24 補正を含んだ額)

セ 最終処分場増設安定化事業	55,053千円 (P20)
----------------	----------------

(3) 力強い地域基盤の確立

(主要事業説明資料 P35)

喫緊の課題である県央地域における救命救急センター及び併設病院の整備、燕三条地域の「軸」である「ものづくり」を更に高みに持っていくための仕組みの検討や燕三条ブランドの積極的な展開など、県央地域で連携して着実に進め、地域の基盤を強固なものにしていきます。

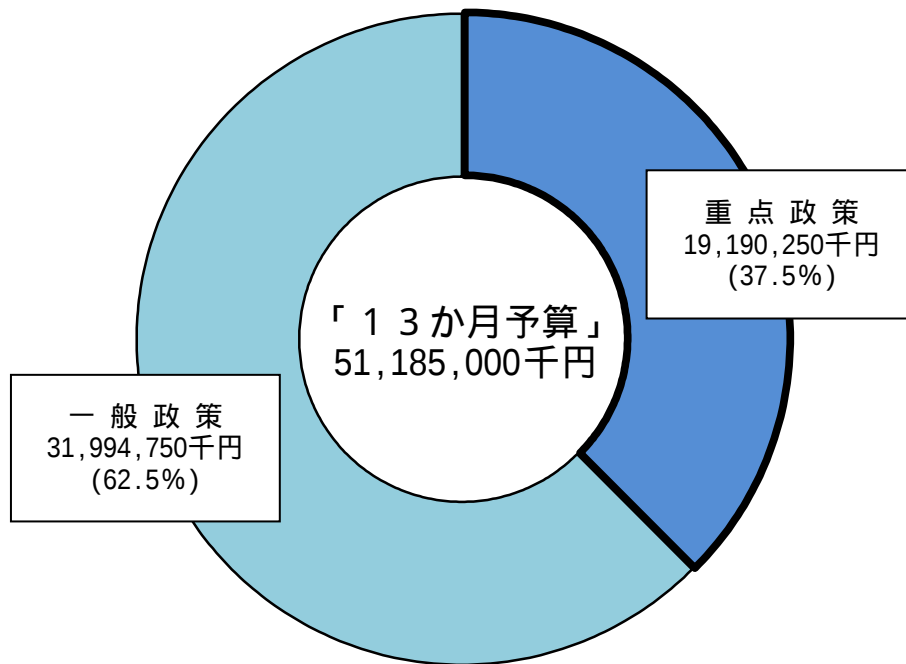
さらに、日本海側最大の産業集積圏域である新潟において、グローバル化をチャンスとしていくためにも、引き続き、新潟市、長岡市、聖籠町と共に、新潟港の利用拡大につながる取組を連携して推進していきます。

ア 地域ブランド推進事業(重複掲載)	10,785千円(P36)
イ 救急医療施設運営事業(重複掲載)	10,112千円(P43)

重点政策構成比

国の平成24年度補正予算で措置された交付金などを最大限活用し、
平成25年度当初予算と平成24年度3月補正予算を一体のものとして捉えた「13か月予算」として編成
[44,875,000千円] + [6,310,000千円] → [51,185,000千円]

- 重点政策の総額は 19,190,250千円 で、「13か月予算」に占める割合は 37.5%



- 投資的経費のうち重点政策に充当する経費は 9,537,857千円 で、投資的経費全体に占める割合は 81.5%

